



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和8年9月14日 No. 19

大内中学生職場体験

8日（火）から3日間、大内中学校2年生の遠藤**さんと小助川**さんが、職場体験として大内小学校に来てくれました。主に1年生と2年生の学習や生活のサポートをお願いしましたが、他の学年の学習にも積極的に入って関わってくれました。給食のお手伝いや掃除も一緒にしてくれました。また、休み時間にはマラソン記録会に向けて小学生と一緒に走ったり、体育館で一緒に遊んだりなど、2人のおかげで、大内っ子も楽しい時間を過ごすことができました。



保育園ボランティア活動

9日（水）、6年生が下川大内保育園にボランティア活動に行ってきました。夏休み中に下川大内保育園でボランティア活動をしてきた6名の子どもたち。今度は、6年生のみんなで行ってみたいとの思いを強くし、夏休み明けに決定しました。子どもたちからの発信であることを、とてもうれしく思っています。園児のために自分たちができることを考え、「やってみよう！」と、行動を起こしている子どもたちの姿は、とても頼もしいものです。当日は、6年生と園児が園庭で思いっきり「どろんこ遊び」をしました。一度汚れてしまえば、もう大丈夫。園庭の砂を掘って川の流れをつくったダムは、なかなかの見応えがありました。園児も6年生も笑顔いっぱいの楽しいひとときとなりました。

そして、実は、先生方も夏休みや冬休みを活用して、1日保育参加をしています。お互いに顔の見える関係が築かれることで、就学前教育と小学校教育の学びの連続性や円滑な学校生活のスタートを支える体制を整え、保小連携の充実を図っていききたいと思います。



「重陽の節句」のお話（食育）

9日（水）、栄養教諭の丸山先生が、ランチルームで「重陽の節句」についてのお話をしてくださいました。重陽の節句は、日本の伝統的な五節句のうちの一つで、「菊の節句」とも呼ばれることや、菊の花を飾り、秋に収穫される「栗」や「秋なす」などを使った料理を食べて健康や長寿を願うことなどを教えてくださいました。この日の献立は重陽の節句メニューで、「栗ごはん、いわしのみそ煮、菊花和え、秋なすのみそ汁」を、みんなでおいしくいただきました。



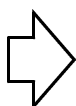
また、大内のキャベツ畑で栽培をしている方のインタビューの様子も動画で見せていただき、キャベツの成長の様子や丹精込めてお世話をしている姿、仕事のやりがいなどを感じ取り、食べ物への感謝の気持ちを再確認した子どもたちです。

委員会活動、がんばっています ②

9日（水）、保健・体育委員会のみなさんが、「見直そう！廊下の歩き方（校内MAP）」と題した動画を自分たちで作成し、ランチルームで全校児童に呼びかけを行ってくれました。「あい」と「はあと」で、廊下を歩こう→合言葉は、「あい はあと」です。

「あい」と「はあと」で、廊下を歩こう週間が始まりました。

あい	→	あいさつをしよう
は	→	はしらない
あ	→	あそばない
と	→	とびださない



そして、この保健・体育委員会の取組に賛同した中学生の2人が、校内の危険な箇所にコーンを作って置いてくれていました。ちょっとした隙間時間に作ってくれていたとのこと。びっくりです。

これは、階段下に置かれたコーンです。後輩のために、大内小学校のために、できることを考えてやってきている姿、本当に感動です。見付けた子どもたちが「あっ」と言いながら、微笑みながら気を付けて

廊下を歩いている様子に、とても心が温くなりました。

問題意識をもって作戦を考えてくれた委員会の子どもたち、その様子に賛同してさらに手を加えてくれた中学生の2人、安全に廊下を歩いている大内っ子のみんな、大好きな大好きな大内小学校の姿です。

